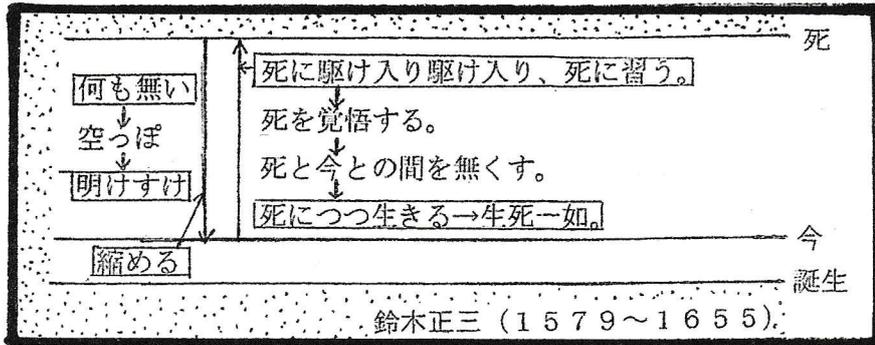


©2016 死生学研究会

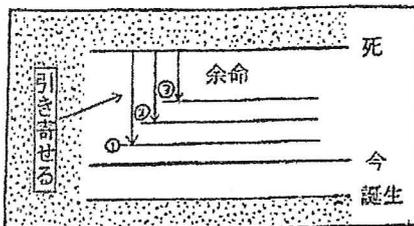
死生学研究会
Thanatology Research Center
TEL 042-624-1355



(1961:19歳の秋~1964:22歳の春)

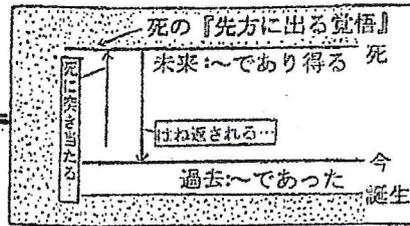
『瞬生五十年』による『死の不安の解消』(E)

禅的無・『瞬生五十年』



余命を今というこの一瞬に引き寄せて生きる。一瞬一瞬に人生は完成する。

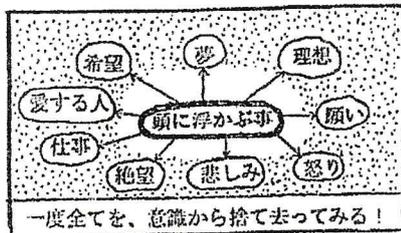
ハイデガーの『存在と時間』



人間の存在は、~であった、そして~であり得るに向かつての存在(今)である。

『瞬生五十年』の具体的・段階的方法

- ① がんの宣告・余命の告知…頭の中が真っ白になる。
- ② 頭に浮かぶ事をそのまま、メモ帳等に書きなぐる。



書きなぐり
思考・思いの発散

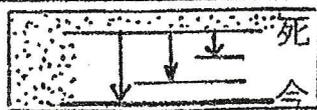
(求め尽くす)

頭の中が空っぽになる。

(求める意識が消える)

完全に空っぽにならなくても、
空っぽになった分だけ、
心が開放され、自由な発想
(名案) が可能になります。
...「死の不安」かなり解消。

- ③ 『瞬生五十年』の実現



一瞬は全人生を含むので
常に人生は完成している。

- ④ 一瞬 → 人生の完成 → 求めるものがなくなる。

よし、これでよし

ありがとうとほほえみ

しょうえん
の終焉!
(おわり)